

東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」(UTCP)
中期教育プログラム「イメージ研究の再構築」イベント
第2回講演会

ジャン＝クロード・レーベンシュテイン
(パリ第1大学名誉教授)

デ コー ル ム
絵画の作法
と
〈最後の審判〉

ミケランジェロからコルネリウスまで

個性的な視点と斬新な手法でつねにフランス語圏の美術史学を活性化してきたジャン＝クロード・レーベンシュテイン氏。UTCP新中期教育プログラム「イメージ研究の再構築」では、7月のダリオ・ガンポーニ教授招聘につづくイベントとして同氏をお迎えし、最新の研究成果をご講演いただきます。テーマは〈絵画の作法 (décorum)〉。ルネサンスから19世紀までを大胆に横断しながら、絵画作品とそれが置かれる〈場〉との複雑な関係を解きほぐし、同時に芸術家が聖俗権力から自らを解き放って独自の地位を獲得していく歴史的過程を鮮やかに描き出します。

ジャン＝クロード・レーベンシュテイン

高等師範学校に学び、パリ第1大学で長く美術史を講じた。現在、同大名誉教授。アメリカ合衆国、カナダ、台湾の各地でも客員として教鞭を執る。著書に *Zigzag* (1981), *Chahut* (1989), *L'art de la tache* (1990), *Jacopo da Pontormo* (1992), *Annexes – de l'œuvre d'art* (1999), *Etudes cézanniennes* (2006)〔後二者は邦訳近刊〕など多数。

2009年9月12日(土) 15:00–17:00 | 東京大学駒場キャンパス18号館ホール |
司会：三浦篤 (UTCP) | 後援：日仏美術学会 | 入場無料 | 事前登録不要 | 使用言語：フランス語
(日本語同時通訳つき) | お問い合わせ：image.studies@utcp.c.u-tokyo.ac.jp

Conférence de
JEAN-CLAUDE LEBENSZTEJN
(professeur émérite à l'université de Paris I)

Décorum

Le Jugement dernier, de Michel-Ange à Cornelius

Samedi 12 septembre 2009 15 h – 17 h | Auditorium, Bâtiment 18, Campus
Komaba, Université de Tokyo, 3-8-1 Komaba, Meguro-ku, Tokyo | Entrée libre | Avec traduction
simultanée français-japonais | Contact: image.studies@utcp.c.u-tokyo.ac.jp

